

# 平成18年12月分電力需給状況

## 需要の概要

平成18年12月の販売電力量は、23億9百万kWh時、前年比 98.4%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年の厳冬に対し、今年が暖冬であったことなどから、前年比 96.4%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比 96.2%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学など主要な業種が前年を上回ったことから、前年比 104.6%となった。

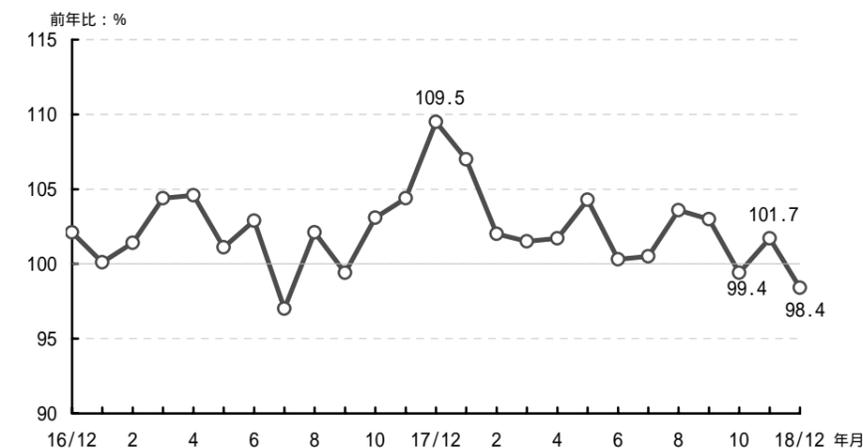
## 需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	766	96.4
	電 力	150	90.6
	計	916	95.4
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	503	96.2
	産業用電力	890	102.9
	うち大口電力	(691)	(104.6)
	計	1,393	100.4
販売電力量 計		2,309	98.4
融 通		622	90.1

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

## (参考1) 販売電力量の前年比の推移



## 大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		18/12月	18/11月	18/10月
紙・パルプ	129	105.1	102.4	111.8
化 学	145	106.1	102.7	104.6
鉄 鋼	84	101.7	92.0	96.7
機 械	133	100.3	103.5	104.4
そ の 他	200	107.4	106.9	108.8
合 計	691	104.6	102.6	105.9

## (参考2) 4県都平均気温

	18/11月				18/12月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	16.4	13.5	13.7	14.5	9.4	9.5	8.6	9.1
平年差	1.3	0.4	2.9	1.5	0.1	1.6	1.6	1.0
前年差	0.0	0.9	2.2	1.0	2.2	5.4	3.7	3.7

## 供給の概要

- 原子力は、定検の影響により、前年比 113.4%となった。
- 水力は、本年よりも前年がさらに湯水だったことから、前年比 138.0%となった。
- 火力は、需要の減や原子力・水力の増により、前年比 84.1%となった。

## 供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	( 37) 1,257	113.4	出水率 76.8% (17年12月出水率 48.0%)
水 力	( 4) 127	138.0	
火 力	( 59) 2,008	84.1	
発受電計	(100) 3,392	94.6	
その他	4		
供 給 計	3,388	94.5	

注：( )内は構成比

## (参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	( 98.7) 531	( 95.2) 368	( 99.6) 811	( 98.3) 599

注：( )内は前年比